

環境浄化ビジネス

脱サラ4年(研究者)

研究所の閉鎖でベンチャーに転身

オー・エス・ピーの山本弘信社長は起業によりこれまで携わってきた研究テーマを守り、3年の歳月を経て実用化を達成した。



オー・エス・ピー
山本弘信社長(35歳)

オー・エス・ピーはドイツの大手医薬品メーカーのヘキスト(現アベンティス)の日本法人「ヘキスト リサーチ&テクノロジー」が研究開発していた有機物質センサープロジェクト(Organic Sensor Project)を継承したベンチャー企業で、実用化に取り組んでいる。その「OSP」では、工業排水や河川、地下水に混入する石油系、塩素系の有機物質を検出できるセンサーの開発をしている。

この会社を立ち上げたのが山本弘信社長(35歳)。山本さんは大学卒業と同時に川崎市にあるヘキストリサーチに就職した。「OSP」の研究に取り組んでいた。しかし、98年、研究所が閉鎖。

「会社が無くなるということよりも、延べ何十人という規模で7、8年間やってきた研究を止めることが残念でした。あと2、3年で実用化できそうなところまでできていましたから…」と、山本さんは迷った。それまで起業なんて考えたこともない。ただ30歳を過ぎた頃から自分の生き方を変えなければとは思っていた。のほほんと生きていて、自分を磨くことができていない、というあせりもあった。起業のチャンスと考え

た山本さんだったが、親戚、同僚からは「無謀だ」と反対された。理解者は奥さんだった。「まだ若いんだから、失敗してもまたやり直しができるわ」と、応援された。

その一言で山本さんは「一番険しい道」を選択した。会社と交渉し、在籍中に起業のための研修期間として3カ月間を認めてもらい「自分に足りないもの」を補うために東奔西走。研究用の機材は退職金を原資に会社から安く譲り受け、会社の閉鎖に時を合わせ、98年12月に起業した。

設立以来、公的助成金制度等を活用し、2000万円を超える資金を得て研究開発を続けている。今春からは研究の成果を商品化したポータブル軽油品質計「軽油チェッカー」の販売を開始。この商品は大气汚染や脱税の原因となっている灯油や重油が混入された「不正軽油」の純度を瞬時に測定することができる。売り込み先は監視役の地方自治体。これまで先行投資されてきた資金の回収がいよいよスタートの時期を迎えた。

アウトソーシングで経費節約

研究開発は資金を回収するまでの時間と資金が先行投資となる。人件費抑えるため起業セミナー等で知りあった経営コンサルタント、税理士の4人に営業や経理業務をアウトソーシング。商品の生産、販売に関しても提携企業に委託している。山本さんの研究の成果を商品として流通させるには大勢のパートナーの力が必要だが、山本さんの周囲には心強い「優秀なサポーター」が揃っている。

企業データ

●開業年/1998年 ●業種/環境浄化ビジネス ●資本金/300万円
●社員数/3名 ●所在地/埼玉県狭山市東三ツ木2-14 山商ビル3F TEL042-968-2282
FAX042-968-2283
URL <http://www.osp-inc.co.jp>